

平成 19 年 11 月 22 日



来週から、読書旬間が始まります。先生方による読み聞かせ「全校おはなしのへや」や図書委員会による「読書郵便」など本に親しむ楽しい活動がたくさんあります。

さて、ご家庭での読書はいかがでしょうか。普段、家族で同じ時間に読書をしたり、読み聞かせをしたりするといった時間はなかなかとれないのではないのでしょうか。でも、読み聞かせや読書には、いいことがいっぱいあります。是非、この機会に、親子で読書の時間を楽しんでみてください。

【読み聞かせをする】

大好きなおうちの人のひざで、あるいはそばで、自分に注がれる愛情をいっぱいを感じながら、お話を読んでもらうことは、子どもにとって、とっても幸せな時間だと思います。高学年の子どもたちだって、まだまだ、読んでもらうことが大好きです。忙しいと、なかなか本を読む時間が取れないと思いますが、絵本なら短い時間で子どもからお年寄りまで手軽に楽しめます。読み聞かせは、子どもとお母さん、お父さんの楽しい時間の始まりです。

【親子や家族で、同じ時間に読書をする】

「読み聞かせ」に限らず、ご家族揃っての読書タイムを作る、というのもいいですね。お子さんが借りてきた本やご家庭にある本などをお休み前や食後のひと時、休日などにみんなで読み、「何読んでるの？どんな話？」「へえ～、面白そうだね。今度、貸して。」など、いつもとちょっと違う親子の会話が生まれてくるかもしれません。

本を読むということは、話のできごとを自分でイメージすること、主人公と自分を重ねあわせ、じっくりと考えられる感性を磨くことです。泣いたり笑ったり、喜んだり悲しんだり、うんと感動できる心を育てることです。お子さんが借りてきた本やご家庭にある本などをお休み前や食後のひと時、休日などに、是非、本を読み聞かせてあげてください。また、いっしょに読む時間をもってみてください。

親子読書の感想をお寄せいただけるとうれしいです。(別紙にて)

☆ 親子読書の感想 (低・中・高 学年)

どのようなことをしましたか。○を付けてください。(いくつでも)

- ・ 読み聞かせをした。
- ・ 同じ時間に読書をした。
- ・ その他 ()

(感想)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

下に、○をつけてください。

この感想は、

- { 1 たよりやホームページに載せてもよい。 2 載せてほしくない。 }

ご協力ありがとうございました。